

入館・参加  
無料

# ワッハ上方 「上方演芸の殿堂入り」名人 特別展 ～生誕100周年 追悼 ミヤコ蝶々展～

ミヤコ蝶々さんは、昭和から平成の時代にかけて、関西を拠点に漫才師、舞台女優として上方の漫才・喜劇界で活躍されました。

このように、多くの方々に親しまれ、上方演芸の発展と振興に大きな役割を果たした功績をたたえ、大阪府立上方演芸資料館（ワッハ上方）では、2006年に「上方演芸の殿堂入り」名人として表彰しています。

2020年は、ミヤコ蝶々さんの生誕100年、没後20年のメモリアルイヤーにあたります。

この特別展では、この節目の年にその偉業をたたえて、紫綬褒章や勲四等宝冠章の勲章のほか、写真パネルなど、ミヤコ蝶々さんにまつわる資料を多数展示するとともに、ミヤコ蝶々さんが出演されていた番組も視聴いただけます。また、令和2年10月1日（日曜日）には、ミヤコ蝶々さんゆかりの関係者によるトークショーも開催します。

## 【主な展示品】



ミヤコ蝶々 18歳

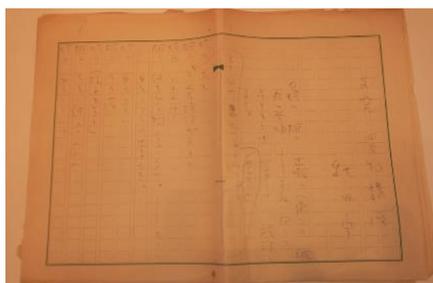


夫婦善哉



雑誌「上方演芸」創刊号

初公開展示品！！



秋田實直筆の蝶々雄二の  
漫才「お笑い買物講座」原稿



松竹中座公演の写真

開催場所：大阪府立上方演芸資料館（ワッハ上方）

※入館無料

開催期間：令和2年10月6日（火曜日）～12月6日（日曜日）

主催  
協力

大阪府立上方演芸資料館（ワッハ上方）  
ミヤコ蝶々保存会、松竹株式会社  
在阪放送局ワッハ上方プロモーション委員会  
（MBS・ABC・KTV・YTV・TVO・OBC）

公式Twitter



公式HP



お問合せ

大阪府立上方演芸資料館（ワッハ上方）  
電話：06-6631-0884（10時から18時）  
（休館日：毎週月曜日・月曜日が祝日の場合は翌平日が休館日）

裏面も  
ご覧ください！！

## 【ミヤコ蝶々さんプロフィール】



東京都出身 1920年（大正9年）7月生まれ

「都家蝶々一座」の座長として七歳で初舞台を踏み、地方の劇場を中心に芝居・漫才などの芸を磨いた。

1948年（昭和23年）に南都雄二と漫才コンビを結成、夫婦となる。

1955年（昭和30年）から朝日放送「夫婦善哉」の司会者として注目を集め、マスコミの寵児となった。

道頓堀・中座をホームグラウンドとし、定期的に座長公演を開催、「辻説法」と称する一人語りでもファンの心をつかみ、1984年（昭和59年）に紫綬褒章、1993年（平成5年）に勲四等宝冠章を受章した。

## ～追悼 ミヤコ蝶々展～ トークショー

「上方演芸演芸の殿堂入り」名人として表彰されたミヤコ蝶々さんが出演する番組を視聴しながら、当時の様子や、関係者が知る裏話なども披露するトークショーを資料館の体験エリアで開催します。

■10月11日（日曜日） 13時～14時

【定員】20名

【出演者】相羽秋夫（演芸評論家、松竹芸能株式会社の元構成作家）

林 千代（シナリオライター、漫才作家 秋田實さんの御息女）

【挨拶】日向利一（ミヤコ蝶々保存会 会長）

【司会】伊東雄三（元ワッハ上方館長）

■申込方法 電話又はメールにて、事前にお申込みください。

[メールの場合] 氏名と「トークショー申込」と明記のうえ、[bunka-g11@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:bunka-g11@sbox.pref.osaka.lg.jp)までお送りください。

[電話の場合] 氏名と連絡先(電話番号)をお伺いします。 ※定員に達し次第、受付を終了します。

■障がい等により配慮を希望される方は、事前にお問合せ先までご相談ください。

■お預かりした個人情報、本トークショーに関する事務以外には使用しません。

■本トークショーの開催にあたっては、次のとおり新型コロナウイルス感染予防対策を図りながら実施します。

○出演者と参加者の座席との間隔を2m以上確保します。

○事前に座席の消毒を行います。

■今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、本イベントを中止又は延期する場合があります。あらかじめご了承ください。

■当館にご来館される方は、次のことについてご協力をお願いします。

○「大阪府コロナ追跡システム」の登録をお願いします。

○厚生労働省「新型コロナウイルス接触アプリ COCOA」の登録をお願いします。

○手指消毒用アルコールを設置していますのでご利用ください。

○マスクの着用をお願いします。

○お客様同士の大声での会話や掛け声はお控えください。

○発熱等の症状のある場合には、ご来館を自粛いただきますようお願いいたします。